

京都市教委

いじめ対策チーム設置

きょう
スタート 専用電話も新設

全国でいじめが原因とみられる自殺が相次ぐ中、京都市教委は15日、「いじめ」対策プロジェクトチームを庁内に設置すると発表した。生徒指導課から生涯学習部までの8部署の8人を担当とし、いじめに関する情報が寄せられた場合、現場に赴き、学校や市民から事情を聞き、対応策を考えていくという。16日からスタートする。

プロジェクトチームは生徒指導課、教職員人事課、生涯学習部の職員で構成。いじめに関する情報を一括して受け付ける専用電話「いじめ問題サポートライン」も新設し、多くの人からの「サイン」を逃さないようにしていく。市教委総務課は「いじめの訴えをすくい上げ、素早い対応につなげたい」としている。

18年11月16日
京都新聞朝刊

いじめ問題サポートラインは「いじめ問題サポートライン」(075・213・3522)と「いじめ問題サポートライン」(075・351・7834)の2つに分けられ、今年9月9日(土)から10月25日(土)まで、10月25日(土)の午後5時に受け付ける。

一方、既設の「いじめ相談ホットライン」(075・351・7834)への相談は、今年9月9日(土)から10月25日(土)まで、10月25日(土)の午後5時に受け付ける。近々増えるという。受け付けは月・金の午前10時から午後9時、土・日と第2・第4水曜は午前10時から午後5時。

いじめで特別チーム

京都市
教委 専用電話、情報受け付け

全国でいじめを苦にした児童、生徒の自殺が相次いでいるを受け、京都市教委は16日、「いじめ対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、子どもや保護者、市民から、市立学校・幼稚園でのいじめに関する情報を受け、専用電話を設ける。市教委がすでに開設している相談窓口「いじめ相談ホットライン」(075・351・7834)には、10月は25件の約3倍の相談が寄せられた。同窓口は、悩みを打ち明け、匿名の相談にも応じているが、教育現場で起きているいじめ

問題にいち早く対応するため、具体的な学校名の通報を受ける専用電話を開設することにした。プロジェクトチームは、生徒指導に精通した生徒指導課や地域教育専門主事室の指導主事ら8人で構成。専用電話に寄せられた情報を基に、いじめが起きている学校への指導や児童、生徒のケアを行う。いじめを受けている当事者や保護者のほか、近隣住民やいじめの現場を見た市民からの連絡も受け付ける。

市教委生徒指導課の桶谷守課長は「子どもの命を守るため、匿名でもいいので、いじめを知った

18年11月16日
読売新聞朝刊